

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	サンケアキッズ		公表日	R8年 2月 24日		
			利用児童数	26	回収数	9
	チェック項目	はい	わからない	いいえ	工夫していると思う点・改善点など	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		1	時々職員人数が足りないと思うことがあるが、幅広く見守れるようドアを開けたままにしたり、中心に立ったりと見通せるよう心掛けている。送迎に出ると人数が少なくなる時間がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		1	できているところもあるが、できていないところもある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8			清掃はみんなが分担し時間を決めてすればいいのではないかと思うことがある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8			静養室や学習室など扉を閉め、一人に慣れる空間はある。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	1	保護者の集まりが最近ないかもしれない。このアンケートの振り返りはしていないかも…
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			事例検討会の開催、課題に対してのMTが積極的。 朝礼時などに話し合う機会を設けている
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3	3	第三者が支援を見ることはあまりないかも 第三者とは？
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8			研修はあるが、法人内ではないかも。毎週、事例検討会を行っている。虐待研修を年二回所内で開催している。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8			所内でのアセスメントが丁寧
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8			全職員で子の様子や意見を出し合っている。 1回/月モニタリングの検討会を行っている。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8			職員に作成した計画内容に目を通す促しをしている。その内容を支援に活かせる意識の向上は難しいと感じる。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1		行動観察はしているが標準化されたツールは用いていない。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8			話し合い、MTを行っている。 毎月MTをひらいている。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8			季節に応じた製作などの活動をしている。外出、クッキング、パーティのバランスを調整している。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			毎朝話し合っているが、参加できない人がいたり、長期休み中は難しい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	2	夕方はその時間を持っていないため、次の日の朝礼等で気づいたことを共有したり、相談し、見守り方を確認している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			児童につき1回/半年モニタリングしている。その月の更新児童について日を決めて話し合い、見直しも行っている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6	1	1	「地域交流」が難しい。児童館や公園に行くことはそれに入る？
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8			職員が決めるのではなく、児童の自己決定を促す声掛けや対応を行っている。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	3	あまり連携していないかも
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	1		こちらからのアプローチは行っているけど…
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	2	4	以前は行っていたが、今は就学後の利用児しかいない。就学前の園にまで連絡しないが、相談員さんに情報を求めることはある。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2	3	高校卒業者がいない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2	1	スーパーバイズや助言は受けませんが、研修には参加させてもらっている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	1	5	あまり交流はないかも この一年はなかった
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	3	1	代表者が参加している
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			送迎時や連絡帳で行っている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	1	家族が参加できるものは少ない。夏に家族向けの会を開催していた。ペアトレ研修を少しだけ活用する場面があった。研修会に向けて職員も勉強が必要だと思う。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	1		契約時や負担額の変更があったときに行っている
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	1		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	2	5	保護者同士の交流の場は少ない。父母の会がそもそもない。以前は児童の進路に関する学習会を行った。実施できるよう努力する。開催するまでの余力がないと感じる。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	1		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	1		LINEを使い、情報を発信している。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			可視化したり、わかりやすい言葉で簡潔に話すことを心掛けている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3	3	そこまでの余力がないと感じる。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	2	1	左記すべてのマニュアルが備えてあり、訓練できているわけではない
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	2		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	1		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	1	医師に意見を求めることはない。保護者には確認し、把握している。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1	1	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	2		現在、身体拘束が必要な児童がいない。	